

第3種 久遠漁港 (北海道大成町)

漁港の環境向上と高度な衛生管理を推進する 「環境・衛生管理型漁港づくり」

整備方針

久遠漁港は、イカ外来船の陸揚拠点港として効率的かつ安全で新鮮な水産物を供給するため衛生管理型漁港づくりを推進する。

現在、イカ盛漁期には、沖合待漁船が多く、最大1時間以上の陸揚待ちを強いられている。

このため島防波堤を整備し、岸壁の静穏度解消、陸揚待ちの漁船の安全水域を確保する。

さらに島防波堤は自然調和型構造とし、磯根資源との共生を図る。

久遠漁港の役割

- ・イカ釣り漁の陸揚げ拠点基地 (利用漁船200隻以上、うち外来船100~150隻)
- ・環境衛生管理型漁港づくりを推進し安全で信頼できる水産物の供給基地
- ・エゾメバル、アワビ、ヒラメなど「つくり育てる漁業」の一層の拡充



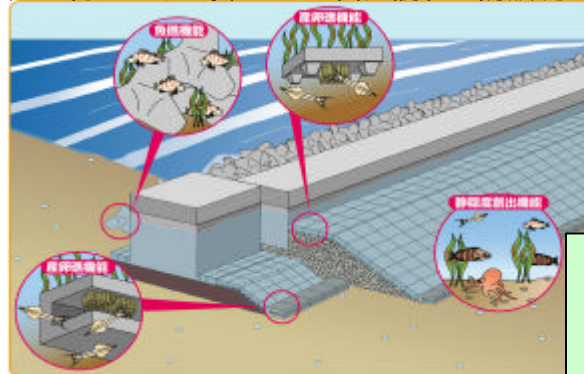
排水処理 (公共下水道と連携)

衛生管理型漁港
 ・排水処理エリア1.4ha
 ・清浄取水施設 HACCP対応市場と連携した施設整備



港内が混み合っているため、約40隻の漁船が待機している状態

水産生物が生息・繁殖できる自然調和型防波堤の計画



背後小段を設置してウニ・アワビの増養殖場とする

蓄養水面の有効利用 (放流量計画)
 アワビ 6000個
 ヒラメ 2万尾
 エゾメバル 25千尾



HACCP 対応型市場イメージ図

漁獲物の鮮度保持や、外部からの異物混入を防ぐため衛生管理として上屋を整備する